

# 2021(令和3)年度 事業報告書

第56期 〔 自 2021(令和3)年4月1日 〕  
〔 至 2022(令和4)年3月31日 〕

# 第56期 事業報告書

## 概況

2021年の世界経済については、新型コロナウイルス感染拡大による影響が大きかった前年に比べ、国や地域によるばらつきはあるものの、総じてコロナ危機による落ち込みから回復の動きがあった。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大を誘因としたデジタル化やそれに伴うインフラ整備の加速、各国の緩やかな経済回復を受け、旺盛な需要に対して半導体をはじめとした部品、原材料の供給不足や価格高騰により、世界経済の回復のペースは鈍化した。また、新たな変異株「オミクロン株」の感染拡大やロシアのウクライナ侵攻に伴う資源・エネルギーや食糧などへの影響から各国の経済は深刻な打撃を受け、世界経済全体として先行き不透明な状況が継続している。

日本経済については、新型コロナウイルス感染拡大の波に伴い、景気は落ち込みと持ち直しを繰り返し、1年延期された東京オリンピック・パラリンピックは無事に終了したものの、無観客の開催になったことで景気の押し上げ効果は限定的であった。また、半導体をはじめとした部品や原材料の調達が滞るとともに、新たな新型コロナの変異株「オミクロン株」の感染拡大もあり、依然として先行き不透明感が拭えない状況が続いている。さらにロシアのウクライナ侵攻による影響から、エネルギー、資源や食糧などの高騰に加え、円安による交易条件の悪化はサプライチェーン全体へも深刻な影響を及ぼし、企業収益の悪化、家計への打撃など日本経済の先行きに大きな影を落としている。

このような中、2021年度の国内の登録車及び軽自動車の新車の総販売台数は、前年度比9.5%減の4,215,826台となり、3年連続のマイナスとなった。このうち、登録車は2,660,855台、同8.2%減、軽自動車は1,554,971台、同11.5%減と共に前年度割れとなった。

一方、2021年度の中古車登録台数は、登録車が前年度比5.5%減の3,646,000台、軽自動車が同4.3%減の2,920,414台で共に前年度マイナスとなった。合計では、6,566,414台、同4.9%減となっている。

このような状況の下、当協会としては、自動車販売業界における中古車部門の重要性が高まる中、消費者に信頼される中古車査定制度の普及・浸透を主目的に諸事業を展開した。

販売店で利用されている中古自動車査定基準については、環境の変化に対応し適宜見直しを行っており、その結果について周知徹底に努めているところである。

査定制度の充実、普及のためには、販売店における中古自動車査定士の資格取得者の増加を図ることが重要であることから、毎年2回の中古自動車査定士技能検定試験を実施している。今年度についても、6月、12月に実施した。申請者数は13,757名、前年比138.3%となったが、登録査定士は2021年度末現在133,596名となり、前年と比べ4,350名減少した。

販売店、信販会社等からの依頼により当協会職員が行う査定については、30,076台で前年比91.3%と減少した。また、消費者・ユーザーから依頼され、修復歴の有無について確認する車両状態確認証明事業は、4,677台で前年比100.2%と横ばいとなった。

オークション出品車両の事前検査事業の検査台数は37,348台で、前年同期比93.8%と減少した。

また、商品中古車の確認証明申請台数は174,136台で、前年比94.9%と減少した。

中古車輸出検査事業については、スリランカ、モーリシャス、バングラデシュなどを中心に、1,773台で、前年比69.7%となった。当事業は、仕向け国内の政治的事由に大きく影響を受け輸出台数が極端に増減を繰り返しており、今年度はさらに、新型コロナウイルスの感染が世界中に拡大した影響もあり検査台数が大幅に減少した。

このような中、協会の主要業務に成長した車両状態証明事業（V-CON）ではあるが、2021年度は、検査台数が134,923台で、前年比98.1%と減少した。

カーチェックシートのWeb版システム「カーチェックス」については、自動車メーカー6社で基幹システムに連動しているが、更なる利便性のため、各メーカー独自の「販売支援システム」等に連携、更にオートオークション連携、大手中古車検索サイトとの連携及び改修を随時行っている。

また、流通価格情報（オートオークション、小売）検索サイトである「e-JAN」については拡販のため、新規AA会場の獲得等、随時行っているが、単に「価格検索」のみならず利用者の利便性のために新機能追加等を図った。

当協会が発行する中古車に関連する参考書としての査定ガイド、価格情報誌であるイエローブック、シルバークック等の各種ガイドブックは、自動車販売関連企業の統廃合、社員の減少、経費の節減、査定システムの普及等から販売環境は厳しく、販売部数は減少しているが、参考資料として引き続き高い評価を得ている。また、当協会の電子メディア「JAAI-Net」を通じて我が国で販売されている全ての自動車に関する型式・装備内

容等の情報を提供しているが、2021年度においても、迅速な情報の提供と内容の充実及び利用者の利便性向上に努めた。

2021年度の当協会事業については、厳しい経済環境等の中であったが、各種事業を積極的に推進し、事業の合理化、経費節減等に努めたこともあり、非収益事業及び収益事業共に黒字の決算となった。

# 主要事業内容

## 1. 査定制度の普及、定着を目指す事業の推進

### (1) 中古自動車査定士技能検定試験の年2回実施

自動車市場の成熟化とともに自動車業界における査定制度の重要性がますます高まる中、当協会では技能検定試験受験申請者の受験機会拡大の観点から、1996年度以降、技能検定試験を毎年2回実施し、申請者の利便性向上に努めてきた。

今年度においても6月に前期、12月に後期と年2回の技能検定試験を実施し、さらに、小型車試験を午前、午後分割して受験者の感染防止対策を行った。

また、従来の検定講習のスタイルである対面講習を一部eラーニングに切り替えることで、研修会場における新型コロナウイルスの感染を防ぐ試みを行った。

前期並びに後期の技能検定結果は、下表の通りであった。

	小型車			大型車	合計	前年	対前年比
	前期	後期	計	前期のみ			
申請者数	5,520名	8,027名	13,547名	210名	13,757名	9,948名	138.3%
(内学生)	(1,113)	(1,634)	(2,747)	(—)	(2,747)	(1,990)	138.0
受験者数	5,187	7,711	12,898	199	13,097	9,324	140.5
(内学生)	(1,004)	(1,575)	(2,579)	(—)	(2,579)	(1,865)	138.3
合格者数	3,733	6,350	10,083	185	10,268	6,729	152.6
(内学生)	(776)	(1,315)	(2,091)	(—)	(2,091)	(1,428)	146.4
合格率	72.0%	82.3%	78.2%	93.0%	—	—	—

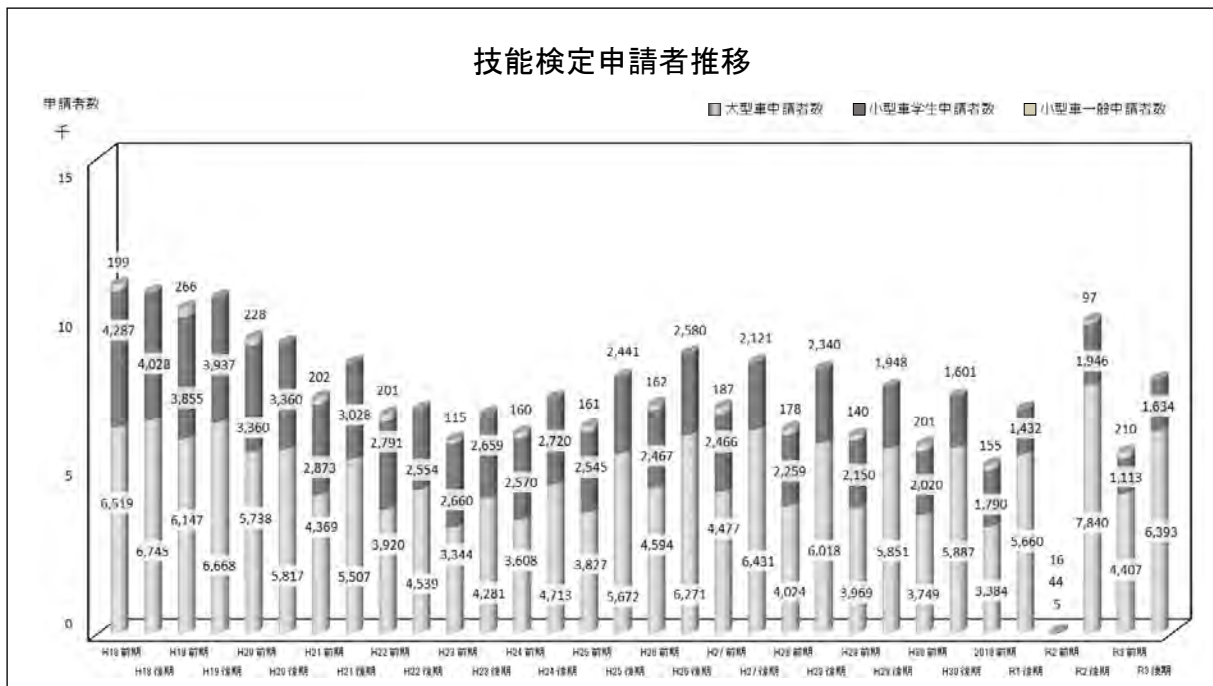
今年度の受験申請者総数は13,757名となり、前年の9,948名を3,809名、上回った。

小型車の通年合格率は78.2%となり、昨年の72.0%を6.2%上回る結果となった。2021年度末現在の登録査定士は133,596名で前年度から4,350名減少した。

また、査定業務実施店数は7,804社で前年度から32社減少した。

### (2) 中古車市場に対応した査定基準の見直し及び円滑な定着・促進

中古自動車査定基準細則にある中古車としての価格差(A点)について、実情と乖離があることから新車価格の90%から93%以内に変更し、特別なものにあっては95%を上限とすることとした。小型車加減点基準では、「みなし修理費」について、前年、外部機関を通じて一般中古車市場との乖離がないか検証を行った結



果を基準に反映し、2022年度より使用することとした。大型車加減点基準は、以前より検討を続けていたものを最終的に纏め、変更し2022年度より使用することとした。また、査定業務規程、約款についても見直しを行い2022年度より改正したものを使用することとした。

### (3) 適正査定のための査定士に対する研修および講習の充実

中古自動車査定士証の有効期間は3年と定められており、査定士証更新のための研修受講は資格登録を維持する条件となっている。義務付け研修会(対面方式)は、今年度は全国各支所で100回実施され、eラーニングを含む36,616名が受講した。この中には実車を用いての研修会が12回含まれており、836名が受講した。さらに、「修復歴の判断基準」の教材を使用して、査定士証更新時の義務付け研修と併せて「特別講習」を実施した。

義務付け研修会以外に各支所単位では、支所が主催する研修会や販売店からの依頼による任意研修会を実施しており、その回数及び受講者は721回、6,850名となっている。最近では、基本的な「車両の点検手順」あるいは「車両状態の表記方法」についての研修に加えて、「修復歴車の確実な判断力の習得」のニーズが増加しており、開催した研修会のうち590回が実車を用いた研修となっている。

#### (4) 自動車メーカーが実施する査定士技能向上活動等への積極的協力

本田技研工業(株)では、社内に展開する査定力向上のための学科試験について問題の監修を行い、販売店査定士の技能維持向上に協力した。

スズキ(株)では、「スズキ机上査定試験」において、問題の作成及び採点について協力を行った。この試験には、全国で82社、4,961名が受験した。更にスズキ(株)では「スズキ認定査定士技能検定」を実施していることから、当協会では受験者の教育、試験車両の解答作成及び試験監督の協力を行った。また、日産自動車(株)では、日産検査員が発行した「品質評価書」の監査業務について協力を行った。

#### (5) 一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会への研修協力

2011年度より実施されている「中古自動車販売士制度」において、修復歴車を含めた車両品質評価の研修依頼があり、今年度においては、全国で485名に研修を行った。

#### (6) 査定士のための各種研修用教材の開発

2022年度から3年間使用する技能向上研修の教材、技能向上研修用ノート16「査定の確認ポイント」を完成させた。この研修用ノートは、車両の点検方法から修復歴のポイントを掲載しており、査定の要点を簡潔に学習できる内容とした。

補助教材として「冠水車の痕跡と特徴Ⅱ」の作成を行った。販売店等から冠水車に関する問い合わせが増えている背景から、2015年作成のものを改版した。

また、視聴覚教材の撮影が新型コロナウイルス蔓延のため延期されていたが、昨年末に撮影することができ、来期映像編集及びナレーションなどの作業を行うこととした。

#### (7) 一般消費者への査定制度PR

当協会の業務内容については、ホームページの充実を図り広報する他、一般消費者に広く査定協会を広報するためPRに努めた。

## 2. 中古車関連情報の適切迅速な提供

#### (1) 中古車価格情報内容の充実

2021年度は半導体不足等による部品供給の滞りにより各自動車メーカーで生産調整が行われた。その結果、新車の長納期化となり、連動して中古車流通量が減少し、中古車市場の価格が高騰する状況となった。こうした市場実態の把握が難しい

局面が続いている状況の中、ガイドブック作成にあたり各自動車メーカー及び販売会社と情報交換を行い、更に「中古車販売実績」「市場実態調査」「オークション情報」等幅広い情報を積極的に取り入れ、掲載価格が市場実勢と乖離することがないように努め、マーケットの状況を迅速にガイドブックの価格設定に反映した。

## (2) 中古車ガイドブックの発行方法について

販売店の統廃合、価格情報誌の増加やインターネット、査定システムの普及などにより、当協会が発行する中古車価格ガイドブックの販売部数の減少傾向が続いていることから、制作コスト削減の為に掲載内容を見直し、ページ数削減の取組を行った。また、購読者の利便を更に向上させるよう努め JAAI-Net に「Web Silver」「Web Yellow」として掲載した。拡販策としては、中古車ガイドブック、「シルバークック」と「イエローブック」を新規査定業務実施店に3ヵ月間無償配布した。

## (3) カーチェックスの活用及び普及

2011年8月にリリースした査定総合支援システム「カーチェックス」は、現在、自動車メーカー6社がメーカー主導でほぼ全国の販売店で導入し、基幹システム連動を果たしている。今年度も販売店や自動車メーカーの意見をシステムに反映しアップグレードに努め導入販売店は増加した。また、「カーチェックス」を軸とした自動車メーカーのシステム構築にも積極的に提案し、協力を行った。今後も現場の意見を聞きながら使用者の利便性を向上させるために開発を続けていく。

## (4) 流通価格検索サイトについて

2019年2月に「e-JAN」としてリニューアルオープンし、オートオークションの実績と店頭小売価格の実績を掲載しており、利用者の利便性を高めるべく常に情報を収集しながらユーザー数増加に努めた。また、協会システム及び他社システムとも連携、協業を図り、積極的な発展を行った。

## (5) 査定参考文献について

### 「2021年版の査定ガイド」

各自動車メーカーより新型車が相次ぎ発売されたが、車種やグレードを特定するために型式指定番号と類別区分番号を手がかりとした情報を纏めて、すべての車型を漏れなく掲載した。また、仕様・装備品等も年々増加しており情報内容が複雑化したことから購読者の関心の高い装備品欄をより判り易く纏め、購読者の利便性の向上を図った。輸入車についても国産車同様に情報内容の充実に努めた。



### (6) JAAI-Net による情報提供及び利用会員増加対策の強化

JAAI-Net による車種諸元情報・中古車価格情報の提供については、カーチェックの車両情報にも使用することから、より正確な情報を提供するように努めた。

自動車メーカー、自動車関係団体、損害保険会社等に対して積極的に JAAI-Net の利用を呼びかけに努め、JAAI-Net 会員数は 2021 年度末で 376 企業、1,174 ID であった。

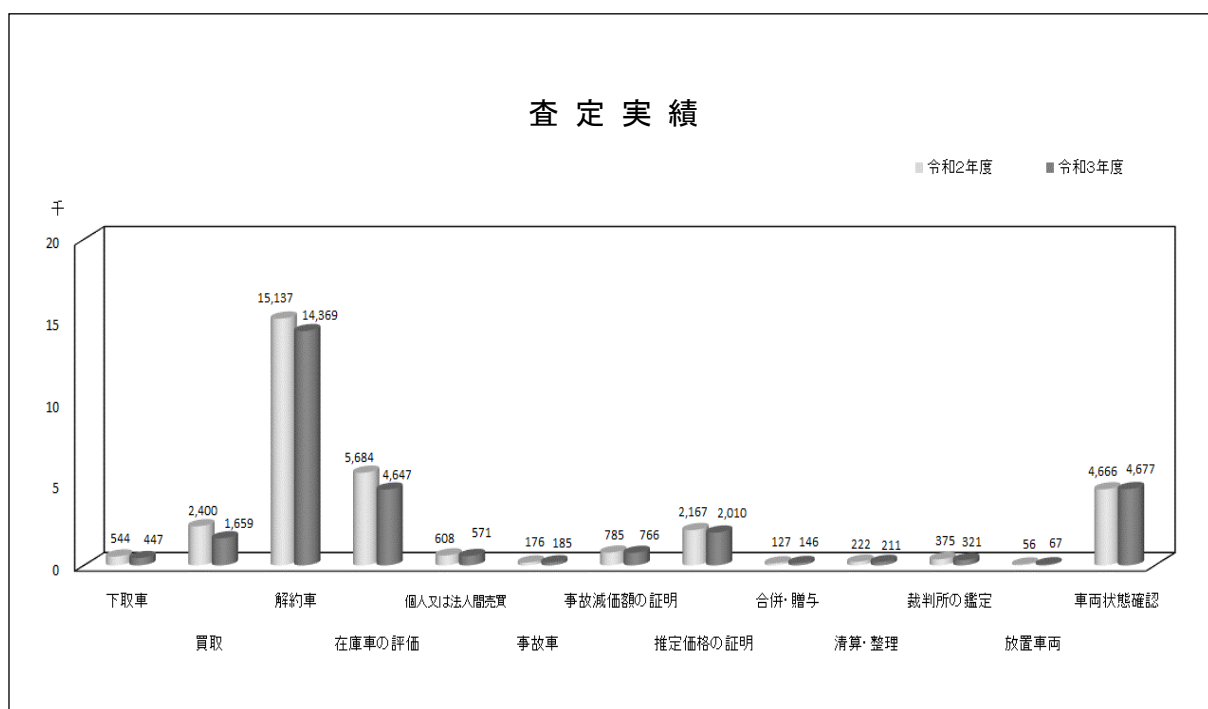
## 3. 査定協会職員による査定及び検査業務の適正な実施

### (1) 査定業務の適正な実施

今年度の査定実績は、30,076 台となり、前年比 91.3% となった。

依頼目的別の集計では、「下取車」は 447 台で前年比 82.2%、「買取」については 1,659 台で前年比 69.1% であった。

依頼先区別に見ると、「販売店」からの査定依頼が 8,112 台で前年比 86.4%、専門店は前年比 92.5%、一般ユーザーは前年比 93.6% となった。



### (2) 車両状態証明事業 (V-CON) の積極的な実施

中古車の販売時に車両の状態を見やすく記載して、販売店が購入者に説明できる証明書の発行業務を実施している。今年度の検査台数では 134,923 台 (前年比 98.1%)

となった。また、認定検査員制度は、販売店における検査の内製化を促進できることから、積極的に検査員の育成協力を行い、認定検査員試験において25名が合格した。

(3) 中古車品質証明及び修復歴車判定業務の積極的な実施

当協会では、中古自動車の価格評価以外に、「修復歴車に該当するか否か」の判断を求められることが多くある。そのため、2001年度から「車両状態確認証明書」を発行してそのニーズに対応している。今年度においては、全国で4,677台（前年比100.2%）の証明書を発行し、修復歴車判定のニーズに対応した。

(4) 商品中古自動車確認証明業務の適正な実施

1986年度から実施している当業務は、販売事業者の経費節減の観点から自動車販売事業者に浸透しており、今年度は174,136台（前年比94.9%）の申請であった。なお、全国の自動車販売店に還付された商品中古自動車の自動車税種別割の減免金額は、約15億6千6百万円となっている。

(5) オークション出品車両及び車両評価の適正な検査の実施

当協会では、オークション会場等から出品車両あるいは展示車両の検査業務を依頼されており、厳正な姿勢で検査を実施している。今年度は、新車販売台数の低迷の中ではあるが、37,348台（前年比93.8%）の検査を実施した。

(6) 中古車輸出事業の海外へのPRと信頼される中古車輸出検査の実施

今年度の輸出検査台数は1,773台（前年比69.7%）であった。

その内、スリランカの検査台数は79台（前年比23.6%）、モーリシャスは1,592台（前年比84.4%）となった。

## 4. その他

(1) 協会内システムの充実

支所から操作性等の意見・要望等を収集し、協会版カーチェックスの利便性の向上を図った。また、その改善内容をディーラー版カーチェックスへ反映させ、販売店のシステムの定着を強化した。また、Web会議システム、電子書簡システムを導入し、更に発展をさせ、業務効率化及び経費削減にも一助になった。

(2) 協会職員の人材教育（経理担当者研修、査定・検査職員研修等）

① 査定長・検査長並びに担当者会議の開催

新型コロナウイルス感染症拡大のため、文書による各分科会活動報告及び意見の募集を行った。

② 職員研修会の開催

全職員を対象として、ハラスメント、接客・電話対応、クレーム対応の Web 研修を実施した。

③ 経理担当者研修会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催中止とした。

(3) 諸会議の効率的な開催

諸会議の開催を効率的・効果的に進め経費及び時間の節減に努めた。

また、新型コロナウイルス感染症予防から、移動と集合を控え、一部会議はオンラインで開催した。

(4) 業務の効率的な実施による諸経費の削減

業務全般に亘って効率的な遂行を目指し、経費及び時間の節減に努めた。

(5) 関係諸官庁並びに自動車関係団体との緊密な連携と情報交換の実施

関係諸官庁並びに関係団体との連携を密にして、指導と協力を仰ぎ、情報の交換、資料の収集、社会経済情勢の把握に努め、事業の円滑な推進を図った。

(6) 個人情報保護法等法令順守への取組み

2005年より当協会は個人情報保護法に対応するため、「基本方針」、「保護規程」、「情報セキュリティ実施要領」を定めているが、今年度も査定士技能検定試験、査定士管理、個別査定等の業務ごとに厳正に取り組むよう努めた。

## 第56期に開催した主な会議、講習会等

### A. 理事会

第181回理事会（2021年6月）

「書面会議」

#### 議 題

- (1) 2020（令和2）年度（第55期）事業報告書（案）の承認について
- (2) 2020（令和2）年度（第55期）計算書類等（案）の承認について
- (3) 事業報告書（案）・計算書類等（案）について監事からの監査報告及び承認について
- (4) 第145回定時評議員会の開催について
- (5) 理事の推薦、及び第145回みなし評議員会への提案について
- (6) 代表理事・理事長交代に伴う第182回みなし理事会への提案について

第182回理事会（2021年6月）

「書面会議」

#### 議 題

- (1) 代表理事、及び理事長の退任に伴う後任代表理事、及び理事長の選定について
- (2) 理事会の決議があったものとみなされる日について

第183回理事会（2022年3月）

「書面会議」

#### 議 題

- (1) 2022（令和4）年度（第57期）事業計画書（案）の承認について
- (2) 2022（令和4）年度（第57期）収支予算書（案）の承認について
- (3) 第146回定時評議員会の開催（案）について
- (4) 第184回・185回理事会の開催（案）について

### B. 評議員会

第144回評議員会（2021年4月）

「書面会議」

#### 議 題

- (1) 理事就任の件

第145回評議員会（2021年6月）

「書面会議」

#### 議 題

- (1) 2020（令和2）年度（第55期）事業報告書について
- (2) 2020（令和2）年度（第55期）計算書類等（案）について
- (3) 事業報告書・計算書類等（案）について監事からの監査報告、及び承認について
- (4) 理事の増員、及び理事交代に伴う後任理事の選任について
- (5) 評議員の増員、及び評議員交代に伴う後任評議員の選任について
- (6) 評議員会の決議及び報告があったものとみなされる日について

### C. 技能検定専門委員会

第146回技能検定専門委員会（2021年5月13日）

議 題

- (1) 第71回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第147回技能検定専門委員会（2021年7月12日）

議 題

- (1) 第71回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

第148回技能検定専門委員会（2021年11月2日）

議 題

- (1) 第72回中古自動車査定士技能検定の試験問題について
- (2) その他

第149回技能検定専門委員会（2022年1月11日）

議 題

- (1) 第72回中古自動車査定士技能検定試験の合否について
- (2) その他

※第146、147回の技能検定専門委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止とした。

#### D. 査定基準価格専門委員会

第614回 2021年11月19日

於「ルアール東郷」

第615回 2021年12月17日

於「ルアール東郷」

#### E. 輸出検査特別委員会

開催実績なし

#### F. 査定士技能検定試験

第71回 2021年 6月20日 小型

2021年 6月16日 大型

第72回 2021年12月 8日 小型

#### G. 全国支所長会議

2021年6月 「開催中止」資料送付

議 題

- (1) 2020(令和2)年度(第55期)事業報告について
- (2) 2020(令和2)年度(第55期)計算書類等について
- (3) その他

2022年2月 「開催中止」資料送付

議 題

- (1) 2022(令和4)年度(第57期)事業計画(案)について
- (2) 2022(令和4)年度(第57期)予算の考え方について
- (3) その他

※2021年6月、2022年2月ともに、新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止とした。

#### H. 運営企画委員会

第287回運営企画委員会(2021年6月)

「書面会議」

議 題

- (1) 2020(令和2)年度(第55期)事業報告書(案)について
- (2) 2020(令和2)年度(第55期)計算書類等(案)について
- (3) 2022年度中古自動車査定士技能検定試験実施日程について

第288回運営企画委員会（2021年11月） 於「品川プリンスホテル」  
議 題

- (1) 2022(令和4)年度(第57期)事業計画及び予算編成の考え方(案)について
- (2) 各分科会の審議状況・予定について

第289回運営企画委員会（2022年3月） 「書面会議」  
議 題

- (1) 2022(令和4)年度(第57期)収支予算書(案)について
- (2) 2022(令和4)年度(第57期)各分科会の進め方について
- (3) その他

※2021年6月、2022年3月ともに、新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止とした。

#### I. 全国査定長・検査長並びに担当者会議

2022年1月 「書面会議」  
議 題

- (1) 各分科会からの報告
- (2) その他

※新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止とした。

#### J. 運営企画部会

2021年 6月 「書面会議」  
2021年11月 於「品川プリンスホテル」  
2022年 3月 「書面会議」

※2021年6月、2022年3月ともに、新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止とした。

#### K. 査定実務分科会

2021年 4月 7日 (第1回) 「WEB会議」  
2021年 5月 24日 (第2回) 「WEB会議」  
2021年 6月 29日 (第3回) 「WEB会議」

2021年 7月 27日	(第4回)	「WEB会議」
2021年 9月 14日	(第5回)	「WEB会議」
2021年 11月 4日	(第6回)	「WEB会議」
2021年 11月 30日	(臨時)	「WEB会議」
2022年 1月 17日	(第7回)	「WEB会議」

#### L. 教材分科会

2021年 4月 16日	(第1回)	「WEB会議」
2021年 5月 26日	(第2回)	「WEB会議」
2021年 7月 6日	(第3回)	「WEB会議」
2021年 9月 2日	(第4回)	「WEB会議」
2021年 11月 9日	(第5回)	「WEB会議」
2022年 1月 19日～20日	(第6回)	「WEB会議」
2022年 3月 15日～16日	(第7回)	「WEB会議」

#### M. 査定基準価格分科会

2021年 4月 1日	(第1回)	「WEB会議」
2021年 6月 1日	(第2回)	「WEB会議」
2021年 7月 1日	(第3回)	「WEB会議」
2021年 8月 3日	(第4回)	「WEB会議」
2021年 9月 1日	(第5回)	「WEB会議」
2021年 10月 4日	(第6回)	「WEB会議」
2021年 11月 2日	(第7回)	「WEB会議」
2021年 11月 30日～12月 1日	(第8回)	於「本部会議室」
2022年 2月 1日	(第9回)	「WEB会議」
2022年 3月 1日	(第10回)	「WEB会議」

#### N. 輸出検査実務分科会

開催実績なし

#### O. V-CON推進分科会

2021年 5月 11日	(第1回)	「WEB会議」
2021年 7月 14日	(第2回)	「WEB会議」
2021年 9月 7日	(第3回)	「WEB会議」



2021年11月10日	(第4回)	「WEB会議」
2021年12月20日～21日	(第5回)	於「本部会議室」
2022年3月9日	(臨時)	「WEB会議」

#### P. システム分科会

2021年7月21日	(第1回)	「WEB会議」
2022年3月24日	(第2回)	「WEB会議」

#### Q. 職員の研修会

- (1) 全国査定職員研修会  
2022年3月～5月 「WEB開催」
- (2) 全国経理担当者研修会  
※新型コロナウイルス感染症拡大のため開催中止とした。
- (3) V-C O N本部研修・資格試験
 

2021年9月15日	「WEB開催」
2021年12月9日	「WEB開催」
2022年3月18日	「WEB開催」
- (4) 輸出中古自動車検査員資格研修・試験  
2022年3月23日 「WEB開催」

#### R. その他

第56期に作成した主な出版物

- 『査定ガイド』 (2021年版)
- 『研修用ノート16 査定の確認ポイント』
- 『冠水車の痕跡と特徴Ⅱ』